

◎高齢者福祉事業の動向について

○高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の機能強化

【事業内容】

高齢者あんしん相談センターには、専門職（主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師）のほか、地域づくり担当や機能強化をはかるための人員を配置していますが、さらに機能強化することで増加する相談や複合的な課題を抱えた困難ケースに対応していきます。各職員が地域のネットワークを構築し、保健・医療・福祉に関する相談・支援などを包括的かつ継続的に実施しています。

市内5地区の高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）が介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、高齢者自身やその家族、地域住民からの相談に応じ、各種サービスの調整や関係機関との連携強化を図っています。

【現状と評価】

核家族化が進んでいることや「介護」に対する漠然とした不安のため、相談等も増加傾向にあります。

そのため、各相談内容に対応できるよう機能強化を目的として委託金額にも反映したところであります。

また、高齢者の抱えるニーズの多様化だけでなく、子ども、孫世帯からの多岐に渡る課題を抱えた困難ケースが増えており、各家庭の状況や個々に合わせた柔軟な対応が求められています。

高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）一覧（令和8年3月末現在）

名称	設置場所
犬山北地区高齢者あんしん相談センター	キャスト▷ヨシヅヤ犬山店内
犬山南地区高齢者あんしん相談センター	総合犬山中央病院内
城東地区高齢者あんしん相談センター	特別養護老人ホームぬく森内
羽黒・池野地区高齢者あんしん相談センター	老人保健施設フローレンス犬山内
楽田地区高齢者あんしん相談センター	特別養護老人ホーム犬山白寿苑内

	令和6年度	令和7年度（見込み）
相談延べ件数（件）	15,160	16,363
権利擁護事業件数（件）	608	666

【方向性】

市においては、高齢者の複雑化、複合化するニーズや多岐にわたる課題を抱えた実情に合わせ、必要なサービスや地域の社会資源を結び付け、包括的支援ができる体制づくり（地域包括ケアシステムの構築）を進められるよう、多機関と連携した適切な支援をしていきます。また、単純に費用面のみならず、各種相談事項や、より地域性も考慮したうえで、対象者に寄り添ったサービスの提供を一層強化していくため、契約の期間を複数年とし、その期間中に受託法人が計画的に人材確保と育成ができるよう、令和8年度プロポーザルを行い、受託先を決定していく方針です。

○高齢者タクシー料金助成事業

【事業内容】

85歳以上の高齢者が介護保険の要支援・要介護認定者の5割を占める現状から、外出する機会を増やし社会参加を促進することにより介護予防を図るため、85歳以上の高齢者に年間28枚（月2枚+4枚）のタクシー基本料金助成券を交付しています。

また、令和6年度から75歳以上84歳以上の非課税世帯も利用条件に加え、令和7年度から85歳以上の非課税世帯に対して基本料金助成券と併用して利用できる利用料金助成券（500円券×最大24枚）を開始しています。

福祉タクシーや介護タクシーを含めたタクシー会社30社と協定を締結し、高齢者の外出を支援しています。

【現状と評価】

高齢者の外出支援施策として、主には通院、買い物などに利用されています。基本料金分のみ助成していた令和6年度から、さらに遠出ができるよう利用料金の助成（500円券）を始め、さらなる高齢の交通弱者を支援することから、地域公共交通を補完も担っています。

タクシー料金助成事業の実績

	令和6年度	令和7年度末（見込み）
発行人数（人）	2,014	2,371 ^[11]
発行枚数（枚）	51,226	60,914 ^[12]
利用枚数（枚）	15,991	17,658 ^[13]
利用率（％）	31.2	28.9

【方向性】

令和6年度に対象要件を拡充し、令和7年度にさらなる外出支援策として利用料金助成を行っております。施策の拡充によりどのような利益（効果）をもたらすのかを注視してまいります。